

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

NII 国立情報学研究所

学術情報基盤

オープンフォーラム2018

2018年
6/20(水) ▶ 21(木)

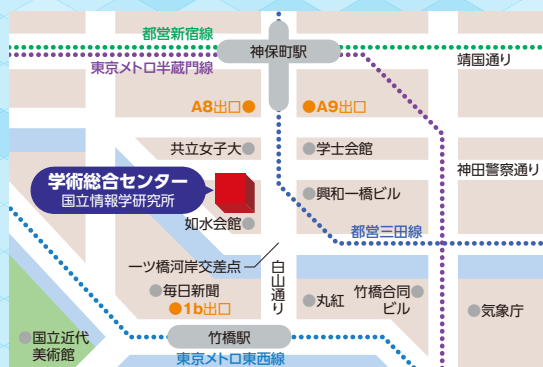


会場 学術総合センター 一橋講堂・特別会議室ほか
(千代田区一ツ橋)

21st Century Academic Information Infrastructure for
Advancing Open Science

共に考え共に創る学術情報基盤を

Day 1 6/20 水					Day 2 6/21 木			
	ROOM A 中会議場1・2(2F)	ROOM B 中会議場3・4(2F)	ROOM C 一橋講堂(2F)	ROOM D 特別会議室(1F)	ROOM E 12階会議室	ROOM D 特別会議室(1F)	ROOM E 12階会議室	ROOM F 19階会議室
10:00	10:00-16:00 ●コンテンツトラック	10:00-12:00 ●クラウドトラック①		10:00-12:00 ●Open Science トラック	10:00-12:00 ●セキュリティトラック	10:00-12:00 ●認証トラック①		10:00-12:00 ●クラウドトラック②
11:00	「つながるオープン サイエンス基盤: 研究データの管理・ 公開・検索を考える アイデアソン」	「クラウド活用 最新事例」		「GakuNin RDM: 研究データ管理基盤 サービス」	「次期NII-SOCSは どうあるべきか?」	「eduroam JP Technical Meeting」		「クラウド利活用の ためのクラウド ゲートウェイ」
12:00	定員:60名	定員:80名		定員:70名	定員:100名	定員:70名		定員:60名
13:00	休憩時間 12:00 14:00		13:00-13:50 基調講演他 「学術情報基盤が 目指すべき未来像」				13:30-16:30 ●ORCIDトラック	13:30-18:00 ●クラウドトラック③
14:00	★このトラックはアイ デアソンを行うため、 午前と午後の両方 にご参加いただく ことが必須です。(午 前のみ・午後のみ のご参加はお控え 願います。)		14:00-18:00 ●SINETトラック	14:00-17:00 ●ラーニング・ アナリティクストラック		14:00-15:30 ●認証トラック②	「ORCIDコミュニティの 強化に向けて」	「オンデマンドクラウド 構築サービス」
15:00				「ラーニング・ アナリティクスの 世界的動向と 国内における展開」		「学認について」 定員:70名		
16:00	16:00-18:00 ●NII+AXIES研究データ マネジメント部会トラック		「SINET加入から 活用まで」 定員:400名	定員:70名		16:00-17:30 ●認証トラック③ 「UPKI電子証明書 発行サービス2018 アップデート」 定員:70名	定員:70名	
17:00	「大学で研究データ マネジメント情報基盤は 立ち上がるのか?」 定員:120名							定員:60名
18:00								



<https://www.nii.ac.jp/service/openforum2018>
お申込みはウェブサイトのお申込みフォームから受け付けています

<https://twitter.com/jouhouken>
オープンフォーラム ハッシュタグ #SINET5

openforum@nii.ac.jp
国立情報学研究所 学術情報基盤課 フォーラム担当

東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8・A9出口
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口
徒歩3~5分

Day 1 6/20 水

<p>10:00-16:00 コンテンツトラック (12:00-14:00 休憩時間) ROOM A</p> <p>「つながるオープンサイエンス基盤: 研究データの管理・公開・検索を考えるアイデアソン」</p> <p>オープンサイエンス時代を迎え、大学図書館でも研究データへの対応を求められています。本トラックでは、NIIの研究データ管理基盤サービスGakuNin RDM、研究データに対応した次期JAIRO Cloud、次期CiNii (CiNii Research)およびIRDBの開発状況を紹介します。それら基盤を大学や大学図書館で活用するために、これまでの延長線ではないアイデアを出していただくためのアイデアソンを開催します。</p>	<p>16:00-18:00 NII+AXIES研究データマネジメント部会トラック ROOM A</p> <p>「大学で研究データマネジメント情報基盤は立ち上がるのか?」</p> <p>オープンサイエンスの推進、あるいは研究公正の維持のため、大学等研究機関ではどのように研究データ管理(RDM)基盤の整備を進めればよいのでしょうか。本トラックでは、RDM基盤整備を進める際に起こりうる課題とその解決方法について、議論を交わします。</p>	<p>10:00-12:00 クラウドトラック① ROOM B</p> <p>「クラウド活用最新事例」</p> <p>学術コミュニティでのクラウド活用が進んでいます。本トラックでは、クラウドを活用した研究教育への取り組みを進めている大学等の方々をお招きし、最新事例についてご講演いただきます。また、NIIが進めているクラウド導入・利用支援について紹介するとともに、参加者からの質問にお答えします。</p>
<p>13:00-13:50 基調講演他 ROOM C</p> <p>「学術情報基盤が目指すべき未来像(仮)」</p> <p>オープンフォーラム2018は、昨年に引き続き「共に考え共に創る学術情報基盤」をテーマとし、NIIが提供する事業について多岐にわたるトラックを用意しました。基調講演では、フォーラム全体を俯瞰する見取図をお示しするとともに、わが国の大学・研究機関を支える学術情報基盤の進化の方向と、個々の技術やサービスが課題解決に果たす役割を参加者の皆様とともに考えます。</p>	<p>14:00-18:00 SINETトラック ROOM C</p> <p>「SINET加入から活用まで」</p> <p>前半は、SINETへ加入から接続するまでに必要な申請手続き(加入申請、IPアドレス、ドメイン等)や、接続するアクセス回線の調達についての注意点等を中心に説明します。後半は、SINETを活用するためにSINETの主要なネットワークサービス(インターネット接続、VPN接続等)について説明します。さらに、SINETの有効活用に繋がるような活用事例を紹介いたします。</p>	<p>10:00-12:00 Open Scienceトラック ROOM D</p> <p>「GakuNin RDM: 研究データ管理基盤サービス」</p> <p>研究不正防止のために研究者は所属機関で研究データを管理しておく必要があります。しかしながら、国内では研究データ管理に向けたインフラ整備は十分とはいえません。NIIの研究データ管理基盤サービスGakuNin RDMは研究者と研究支援者が共同で効率的な研究データ管理を行うための仕組みをクラウドで提供します。本トラックでは、NIIの研究データ管理基盤サービスGakuNin RDMとユースケースを紹介します。</p>

<p>14:00-17:00 ラーニング・アナリティクストラック ROOM D</p> <p>「ラーニング・アナリティクスの世界的動向と国内における展開」</p> <p>海外のラーニング・アナリティクスにおける主要研究者に基調講演をいただくとともに、国内における今後の普及についてディスカッションを行います。</p>	<p>10:00-12:00 セキュリティトラック ROOM E</p> <p>「次期NII-SOCSはどうあるべきか?」</p> <p>2017年7月から本格的にスタートした「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築(NII-SOCS: NII Security Operation Collaboration Services)」について、これまでの運用を通じて得られた知見をもとに、今後の大学間連携に基づいたサイバーセキュリティ人材育成の在り方やサイバー攻撃情報共有の在り方などについて、参加者の皆様とパネルディスカッションなどを行います。</p>	<p>オープンハウス2018</p> <p>6月22日(金) 10:30-15:45 / 表彰式 17:00</p> <p>「SINET5&クラウドアイデアソン」</p> <p>SINET5の広帯域およびフルメッシュによる低遅延という特性と、クラウドの利活用についてこれまでは実現できなかった新たなイノベーションにつながるアイデアを競います。老若男女問わず、1~3名で構成されるチーム単位で事前にエントリーすることで参加できます。当日は、SINET関係者が相談員としてお手伝いするので分からないことがあればお気軽にお尋ねください!</p> <p>URL https://www.nii.ac.jp/openhouse/</p>
--	---	---

Day 2 6/21 木

<p>10:00-12:00 認証トラック① ROOM D</p> <p>「eduroam JP Technical Meeting」</p> <p>(1)認証連携IDサービスの新機能解説”Federated-ID new feature introduction”、(2)トラブルシューティングやファイアウォール設定などの、eduroamの運用に必要な技術について解説を行う”eduroam Technical & Operation Guide”、(3) eduroamアクセスポイントの所在や利用可能エリアについて、ディスカッションを行う”eduroam Accespoint MAP Discussion”を実施します。</p>	<p>14:00-15:30 認証トラック② ROOM D</p> <p>「学認について」</p> <p>日本の学術機関におけるID連携の基盤となっている学認について多方面にわたる話題を扱います。各機関での認証基盤運用状況の報告や、学認に参加しているサービスの中からいくつかの事例紹介、学認の枠を越えて海外のSPと接続する話題など、学認という言葉は知っているが中身をよく知らない方から参加したものの有効活用できていないと感じの方まで、幅広い方が対象です。</p>	<p>16:00-17:30 認証トラック③ ROOM D</p> <p>「UPKI電子証明書発行サービス2018アップデート」</p> <p>高等教育・研究機関を対象として電子証明書を提供する「UPKI電子証明書発行サービス」は、現在、300機関400ドメイン以上で利用されています。提供開始から3年が経過し、2018年、初の大規模アップデートを実施することになりました。本トラックではアップデートの詳細について説明し、また今後のサービス提供の形態、そして他の認証事業との連携について紹介します。</p>
<p>13:30-16:30 ORCIDトラック ROOM E</p> <p>「ORCIDコミュニティの強化に向けて」</p> <p>研究者識別子のデファクトスタンダードであるORCIDの活用が、学術機関、学協会、出版社、データベース事業者、研究助成機関などに広がっています。また、世界各地でコンソーシアムを設立し、ORCIDの利活用を加速する活動が始まっています。本トラックでは、ORCIDの最新情報や先行機関における実装事例を共有し、コミュニティとしての連携を強化する場とします。</p>	<p>10:00-12:00 クラウドトラック② ROOM E</p> <p>「クラウド利活用のためのクラウドゲートウェイ」</p> <p>クラウドゲートウェイは2017年7月から本運用を開始しました。NIIは商用非商用問わず各種クラウドサービスへのポータル/窓口となるクラウドゲートウェイを大学・研究機関向けに提供しており、各機関はそれをカスタマイズの上所属する教職員・学生に提供することができます。クラウドゲートウェイを各大学でどのように活用しているかを紹介し、今後の方向性・展望を議論します。</p>	<p>13:30-18:00 クラウドトラック③ ROOM E</p> <p>「オンデマンドクラウド構築サービス」</p> <p>2018年10月から学術機関でのクラウド利用支援を目的とした「オンデマンドクラウド構築サービス」を開始します。前半は、本サービスを利用した研究・教育用アプリケーション環境構築方法と利用事例について紹介します。後半は、本サービスの基本的な操作方法について、実際のクラウドを利用しながら体験していただきます。体験参加の詳細は、https://cloud.gakunin.jp/をご参照ください。</p>